

まもなく立春 ー本校教育活動の評価ー



フクジュソウ
(花言葉・・・希望)

校長 山浦 麻紀

まもなく立春を迎えますが、一月半ばかりの寒さが一段と厳しさを増しております。地域・保護者の皆様におかれましては益々ご健勝にてお過ごしのことと拝察します。

1年生は館岩少年自然の家での2泊3日の自然体験（スキー教室）に行っておりまいた。インストラクターの方々からも「全員、あいさつが素晴らしいです。」「こんなに爽やかに挨拶をしてくれるのは初めてです。」と絶賛されました。よく頑張ってくれました。青空が広がる中、最終日には頂上から雄大な景色を眺めることができたことや、スキーの技術も向上し様子で胸を張って満足そうに戻ってくる生徒の姿を見て大変誇らしく思いました。保護者の方々には、御理解御協力をいただき、有り難うございました。

さて、3年生にとっては大事な時期に入ります。今年から公立高校の出願方法が、すべて電子出願となり面接も導入となりました。高校入試は、自分の夢に向かっての第一歩を記す時でもあります。私も、模擬面接で生徒一人ひとりと接する機会があり、緊張感が伝わってきました。

ここで、生徒との面接のやりとりの一部を紹介します。

まず、「将来、思い描いている職業や夢はなんですか。」の質問に、人の役に立つ職業、人を喜ばせる職業、自分自身を育てる職業に就きたいという答えが多く返ってきました。続けて、「これらの職業・夢を達成するためにはこれからどのような努力をしていくことが必要ですか。」と質問すると、多くの生徒が、「学力をさらに付けるのはもちろんですが、自分という人間を高めること、コミュニケーションのとれる人間になるように努力したい。」と答えが返ってきました。また、「岸中学校の良いところどんなところですか。」の質問では、「誰もが当たり前前のことが当たり前でできること。挨拶がしっかりできること。勉学に励むだけでなく、自分の好きなことにも熱心に取り組むことができること。」と答えが返ってきました。誰もが、私が想像する以上の答えで頼もしさを感じるとともに、自分をしっかり見つめ、将来を描いていることも分かりました。

まもなく、立春。大丈夫。自分の夢に向かっての第一歩、100年人生 well-being、みんな大丈夫です。

さて、12月に「令和6年度の岸中学校の教育活動に対して」の評価を教師・生徒・保護者の方を対象に実施しました。保護者の方には御協力をいただき、誠に有難うございました。そして、学校全体についての評価は、高い評価を頂きました。生徒対象に尋ねた「学校は楽しいですか？」では、95%を超える生徒が楽しいと答えてくれました。このことは、日常の様々なことが充実している現状があると考えられます。しかしながら、100%を目指し、小さな悩みやストレス等を抱えたとき、自分でどのように処理したらよいかの在り方等を、今後指導の重点に組み入れてまいりたいと思います。また、他の面につきましても◎今すぐできる内容、◎検討して教育計画に組み入れる内容、◎教師個々の指導力の向上を図る内容に分け、改善に取り組んでまいります。

いずれにしても、私達教職員は、「心と心の通い合う学校づくり」を念頭に、一人一人に寄り添った教育を展開してまいり所存です。これからも、一層のご支援、ご協力をお願いします。